

平成24年
第2回

沖縄県議会（臨時会）会議録

平成24年5月17日 開会 }
平成24年5月21日 閉会 } 5日間

沖 縄 県 議 会

平成24年
第 2 回 沖縄県議会（臨時会）会議録目次

1. 会期日程	3
1. 開会日に応招した議員	5

○第1号（5月17日）

1. 開会年月日時	7
1. 議事日程	7
1. 本日の会議に付した事件	7
1. 出席議員	7
1. 欠 員	8
1. 説明のため出席した者の職、氏名	8
1. 職務のため議場に出席した事務局職員の職、氏名	8
1. 開 会	8
1. 諸般の報告	8
1. 日程第1 会議録署名議員の指名	8
1. 日程第2 会期の決定	8
1. 日程第3 甲第1号議案から甲第3号議案まで及び乙第1号議案	8
1. 知事（仲井眞弘多君）の提案理由説明	8
1. 委員会付託	9
1. 散 会	9

○第2号（5月21日）

1. 開議年月日時	11
1. 議事日程	11
1. 本日の会議に付した事件	11
1. 出席議員	11
1. 欠 員	12
1. 職務のため議場に出席した事務局職員の職、氏名	12
1. 開 議	12
1. 日程第1 乙第1号議案	12
1. 委員長報告（総務企画委員長）	12
1. 採 決	12
1. 日程第2 甲第1号議案	12
1. 委員長報告（総務企画委員長）	13
1. 採 決	14
1. 日程第3 甲第2号議案及び甲第3号議案	14
1. 委員長報告（土木環境委員長）	14
1. 採 決	15
1. 閉 会	15

○巻末掲載文書

1. 知事提出議案	17
1. 諸般の報告	31
1. 委員会審査報告書	33
1. 議案処理一覧表	37

平成24年第2回沖縄県議会（臨時会）会期日程

会期5日間 自 平成24年5月17日
至 平成24年5月21日

	月 日	曜日	日 程	備 考
1	5月17日	木	(会議録署名議員の指名) (会期の決定) 本 会 議 (知事提出議案の説明、質疑) 委 員 会 (議案審査)	委員会付託
2	18日	金	議案整理 委 員 会 (議会運営委員会)	
3	19日	⊕	休 会	
4	20日	⊕	休 会	
5	21日	月	本 会 議 (委員長報告、採決)	

開会日に応招した議員

高 嶺 善 伸 君	新 垣 良 俊 君
玉 城 義 和 君	仲 田 弘 毅 君
上 原 章 君	照 屋 守 之 君
島 袋 大 君	辻 野 ヒロ子 さん
中 川 京 貴 君	嶺 井 光 君
桑 江 朝千夫 君	赤 嶺 昇 君
平 良 昭 一 君	当 銘 勝 雄 君
仲 村 未 央 さん	渡嘉敷 喜代子 さん
照 屋 大 河 君	前 田 政 明 君
渡久地 修 君	玉 城 ノブ子 さん
瑞慶覧 功 君	奥 平 一 夫 君
山 内 未 子 さん	比 嘉 京 子 さん
上 里 直 司 君	金 城 勉 君
吉 田 勝 廣 君	糸 洲 朝 則 君
當 山 眞 市 君	翁 長 政 俊 君
吉 元 義 彦 君	浦 崎 唯 昭 君
座喜味 一 幸 君	池 間 淳 君
玉 城 満 君	新 垣 哲 司 君
仲宗根 悟 君	具 志 孝 助 君
崎 山 嗣 幸 君	當 間 盛 夫 君
西 銘 純 恵 さん	新 里 米 吉 君
新 垣 清 涼 君	嘉 陽 宗 儀 君
新 垣 安 弘 君	大 城 一 馬 君
前 島 明 男 君	

平成24年5月17日

平成24年
第2回 沖縄県議会（臨時会）会議録

（第1号）

平成24年
第2回

沖縄県議会（臨時会）会議録（第1号）

平成24年5月17日（木曜日）午前10時2分開会

議事日程第1号

平成24年5月17日（木曜日）

午前10時開議

- 第1 会議録署名議員の指名
- 第2 会期の決定
- 第3 甲第1号議案から甲第3号議案まで及び乙第1号議案（知事説明、質疑）

本日の会議に付した事件

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 甲第1号議案から甲第3号議案まで及び乙第1号議案

甲第1号議案 平成24年度沖縄県一般会計補正予算（第1号）

甲第2号議案 平成24年度沖縄県中城湾港（新港地区）整備事業特別会計補正予算（第1号）

甲第3号議案 平成24年度沖縄県中城湾港マリン・タウン特別会計補正予算（第1号）

乙第1号議案 専決処分の承認について

出席議員（47名）

議長	高嶺善伸君	23番	新垣安弘君
副議長	玉城義和君	24番	前島明男君
1番	上原章君	25番	新垣良俊君
2番	島袋大君	26番	仲田弘毅君
3番	中川京貴君	27番	照屋守之君
4番	桑江朝千夫君	28番	辻野ヒロ子さん
5番	平良昭一君	29番	嶺井光君
6番	仲村未央さん	30番	赤嶺昇君
7番	照屋大河君	31番	当銘勝雄君
8番	渡久地修君	32番	渡嘉敷喜代子さん
9番	瑞慶覧功君	33番	前田政明君
10番	山内末子さん	34番	玉城ノブ子さん
11番	上里直司君	35番	奥平一夫君
12番	吉田勝廣君	36番	比嘉京子さん
13番	當山眞市君	37番	金城勉君
14番	吉元義彦君	38番	糸洲朝則君
15番	座喜味一幸君	39番	翁長政俊君
17番	玉城満君	40番	浦崎唯昭君
18番	仲宗根悟君	41番	池間淳君
19番	崎山嗣幸君	42番	新垣哲司君
20番	西銘純恵さん	43番	具志孝助君
21番	新垣清涼君	44番	當間盛夫君

46 番 新 里 米 吉 君
47 番 嘉 陽 宗 儀 君

48 番 大 城 一 馬 君

欠 員（1名）

説明のため出席した者の職、氏名

知 事	仲井眞 弘 多 君	土木建築部長	当 間 清 勝 君
副 知 事	上 原 良 幸 君	総 務 部	仲 本 朝 久 君
副 知 事	与世田 兼 稔 君	財 政 統 括 監	
総 務 部 長	川 上 好 久 君		

職務のため議場に出席した事務局職員の職、氏名

事 務 局 長	嘉 陽 安 昭 君	主 幹	佐久田 隆 君
議 事 課 長	平 田 善 則 君	主 査	嘉 陽 孝 君
課 長 補 佐	上 原 貴 志 君		

○議長（高嶺善伸君） ただいまより平成24年第2回
沖縄県議会（臨時会）を開会いたします。

決定いたしました。

○議長（高嶺善伸君） これより本日の会議を開きま
す。

◆・・・◆
○議長（高嶺善伸君） 日程第3 甲第1号議案から
甲第3号議案まで及び乙第1号議案を議題といたしま
す。

日程に入ります前に報告いたします。

本日、知事から、お手元に配付いたしました議案4
件及び補正予算説明書の提出がありました。

その他の諸報告については、お手元に配付の文書に
より御了承願います。

知事から提案理由の説明を求めます。
仲井眞知事。

〔知事提出議案 巻末に掲載〕

〔諸般の報告 巻末に掲載〕

〔知事 仲井眞弘多君登壇〕

○議長（高嶺善伸君） 日程第1 会議録署名議員の
指名を行います。

○知事（仲井眞弘多君） おはようございます。

今期臨時会の会議録署名議員は、会議規則第114条
の規定により

9番 瑞慶覧 功 君 及び

43番 具 志 孝 助 君

を指名いたします。

平成24年第2回沖縄県議会（臨時会）の開会に当
たり、提出いたしました議案について、その概要及び提
案の理由を御説明申し上げます。

今回提出しました議案は、予算議案3件、承認議案
1件の合計4件であります。

それでは、まず甲第1号議案から甲第3号議案まで
の予算議案について御説明申し上げます。

甲第1号議案「平成24年度沖縄県一般会計補正予算
（第1号）」は、総額113億2493万9000円を計上して
おり、これを既決予算額6806億7300万円に加えた改予算
額は、6919億9793万9000円となります。

歳出の主な内容について御説明申し上げますと、沖
縄振興特別推進交付金を活用して実施する事業に98億
7885万円、経済対策により造成した基金を取り崩して
実施する事業に14億4608万9000円を計上しておりま
す。

○議長（高嶺善伸君） 日程第2 会期の決定を議題
といたします。

お諮りいたします。

今期臨時会の会期は、5月17日から21日までの5日
間といたしたいと思っております。

これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高嶺善伸君） 御異議なしと認めます。

よって、会期は、5月17日から21日までの5日間と

なお、今回の補正予算の財源は、

国庫支出金 80億7622万7000円

繰入金 20億4005万2000円

地方交付税 5億9396万円

などとなっております。

甲第2号議案「平成24年度沖縄県中城湾港（新港地区）整備事業特別会計補正予算（第1号）」は、中城湾港新港地区における港湾機能の向上に資する大型クレーンの整備について、所要の補正を行うものであります。

甲第3号議案「平成24年度沖縄県中城湾港マリン・タウン特別会計補正予算（第1号）」は、中城湾港西原・与那原地区における浮き桟橋、ポートヤード、管理棟などの整備について所要の補正を行うものであります。

最後に、乙第1号議案の承認議案について御説明申し上げます。

乙第1号議案「専決処分の承認について」は、地方税法の一部が改正され、平成24年4月1日から施行されることに伴い、沖縄県税条例の一部を改正し、同日から施行する必要がありますが、同条例の改正について特に緊急を要し、議会を招集する時間的余裕がなかったことから、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分を行ったため、同条第3項の規定によりこれを報告し議会の承認を求めるものであります。

以上、今回提出いたしました議案について、その概要及び提案の理由を御説明申し上げます。

慎重なる御審議の上、議決を賜りますようお願い申し上げます。

以上でございます。

○議長（高嶺善伸君） これより質疑に入りますが、ただいまのところ通告はありません。

質疑はありませんか。

〔「質疑なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高嶺善伸君） 質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終結いたします。

ただいま議題となっております甲第1号議案及び乙第1号議案は総務企画委員会に、甲第2号議案及び甲第3号議案は土木環境委員会にそれぞれ付託いたします。

—————◆・・・◆—————

○議長（高嶺善伸君） 以上をもって本日の日程は全部終了いたしました。

次会は、21日定刻より会議を開きます。

議事日程は、追って通知いたします。

本日は、これをもって散会いたします。

午前10時17分散会

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

議 長 高 嶺 善 伸

会議録署名議員 瑞 慶 覧 功

会議録署名議員 具 志 孝 助

平成24年5月21日

平成24年
第2回 沖縄県議会（臨時会）会議録

（第2号）

平成24年
第2回

沖縄県議会（臨時会）会議録（第2号）

平成24年5月21日（月曜日）午前10時2分開議

議事日程第2号

平成24年5月21日（月曜日）

午前10時開議

- 第1 乙第1号議案（総務企画委員長報告）
第2 甲第1号議案（総務企画委員長報告）
第3 甲第2号議案及び甲第3号議案（土木環境委員長報告）

本日の会議に付した事件

日程第1 乙第1号議案

乙第1号議案 専決処分の承認について

日程第2 甲第1号議案

甲第1号議案 平成24年度沖縄県一般会計補正予算（第1号）

日程第3 甲第2号議案及び甲第3号議案

甲第2号議案 平成24年度沖縄県中城湾港（新港地区）整備事業特別会計補正予算（第1号）

甲第3号議案 平成24年度沖縄県中城湾港マリン・タウン特別会計補正予算（第1号）

出席議員（47名）

議長	高嶺善伸君	23番	新垣安弘君
副議長	玉城義和君	24番	前島明男君
1番	上原章君	25番	新垣良俊君
2番	島袋大君	26番	仲田弘毅君
3番	中川京貴君	27番	照屋守之君
4番	桑江朝千夫君	28番	辻野ヒロ子さん
5番	平良昭一君	29番	嶺井光君
6番	仲村未央さん	30番	赤嶺昇君
7番	照屋大河君	31番	当銘勝雄君
8番	渡久地修君	32番	渡嘉敷喜代子さん
9番	瑞慶覧功君	33番	前田政明君
10番	山内末子さん	34番	玉城ノブ子さん
11番	上里直司君	35番	奥平一夫君
12番	吉田勝廣君	36番	比嘉京子さん
13番	當山眞市君	37番	金城勉君
14番	吉元義彦君	38番	糸洲朝則君
15番	座喜味一幸君	39番	翁長政俊君
17番	玉城満君	40番	浦崎唯昭君
18番	仲宗根悟君	41番	池間淳君
19番	崎山嗣幸君	42番	新垣哲司君
20番	西銘純恵さん	43番	具志孝助君
21番	新垣清涼君	44番	當間盛夫君

46 番 新 里 米 吉 君
47 番 嘉 陽 宗 儀 君

48 番 大 城 一 馬 君

欠 員 (1名)

職務のため議場に出席した事務局職員の職、氏名

事務局 長	嘉 陽 安 昭 君	主 査	嘉 陽 孝 君
次 長	鉢 嶺 元 君	政 務 調 査 課 長	知 念 正 治 君
議 事 課 長	平 田 善 則 君	副 参 事	大 村 浩 三 君
課 長 補 佐	上 原 貴 志 君	主 幹	宮 城 優 君
主 幹	佐久田 隆 君		

○議長 (高嶺善伸君) これより本日の会議を開きます。

日程第1 乙第1号議案を議題といたします。

本案に関し、委員長の報告を求めます。

総務企画委員長當間盛夫君。

〔委員会審査報告書 (議決事件) 巻末に掲載〕

〔総務企画委員長 當間盛夫君登壇〕

○総務企画委員長 (當間盛夫君) おはようございます。

選挙運動も皆さん御苦労さんでございます。私も、今、頭は選挙運動でございました。

それでは、ただいま議題となりました乙第1号議案の議決議案1件について、委員会における審査の経過及び結果を御報告申し上げます。

委員会におきましては、総務部長の出席を求め慎重に審査を行ってまいりました。

以下、審査の過程における執行部の説明及び質疑の概要等について申し上げます。

乙第1号議案「専決処分の承認について」は、地方税法の一部が平成24年3月31日に改正され、同年4月1日から施行されたことに伴い、沖縄県税条例の一部を改正し同日から施行する必要が生じたが、議会を招集する時間的余裕がなく専決処分を行ったため、地方自治法第179条第3項の規定に基づき議会の承認を求めるものである。

主な改正内容は、第1点目に、住宅の取得及び土地の取得に対する不動産取得税の税率の特例について、適用期限を3年間延長する。第2点目として、環境性能にすぐれた自動車の取得に係る自動車取得税の税率及び課税標準の特例について、対象の見直しを行った上で3年間延長する。第3点目として、バリアフリー対応のバス・タクシー及び衝突被害軽減ブレーキを搭

載したトラック等の取得に係る自動車取得税の課税標準の特例を新設し、適用期間を3年間とする。第4点目として、軽油引取税の課税免除の特例について、適用期限を3年間延長する。第5点目として、自動車税の税率の特例について、対象の見直しを行った上で2年間延長することなどであるとの説明がありました。

以上が委員会における審査の概要であります。採決の結果、乙第1号議案は、全会一致をもって承認すべきものと決定いたしました。

以上、審査の経過及び結果を申し上げましたが、よろしく御審議のほどをお願い申し上げます。報告を終わります。

○議長 (高嶺善伸君) これより質疑に入りますが、ただいまのところ通告はありません。

質疑はありませんか。

〔「質疑なし」と呼ぶ者あり〕

○議長 (高嶺善伸君) 質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終結いたします。

これより乙第1号議案を採決いたします。

お諮りいたします。

ただいまの議案1件は、委員長の報告のとおり承認することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長 (高嶺善伸君) 御異議なしと認めます。

よって、乙第1号議案は、承認することに決定いたしました。



○議長 (高嶺善伸君) 日程第2 甲第1号議案を議題といたします。

本案に関し、委員長の報告を求めます。

総務企画委員長當間盛夫君。

〔委員会審査報告書 (予算) 巻末に掲載〕

〔総務企画委員長 當間盛夫君登壇〕

○総務企画委員長（當間盛夫君） それでは、ただいま議題となりました甲第1号議案の予算議案1件について、委員会における審査の経過及び結果を御報告申し上げます。

委員会におきましては、総務部長及び企画部長の出席を求め慎重に審査を行ってまいりました。

以下、審査の過程における執行部の説明及び質疑の概要等について申し上げます。

甲第1号議案「平成24年度沖縄県一般会計補正予算（第1号）」は、県民が「沖縄21世紀ビジョン」で望んだ5つの将来像の実現と4つの固有課題の解決を目指して、2つの施策展開の基軸である「沖縄らしい優しい社会の構築」と「強くしなやかな自立型経済の構築」の実現に向け、沖縄振興特別推進交付金を活用して当初予算と一体となって実施する事業のほか、経済対策により造成した基金を取り崩して実施する事業について必要な予算を措置するものである。

補正額は、歳入歳出それぞれ113億2493万9000円で、これを既決予算額6806億7300万円に加えると、改予算額は6919億9793万9000円となる。

歳入の主な内容は、国庫支出金が80億7622万7000円、地方交付税や繰入金などが32億4871万2000円である。

歳出の主な内容は、投資的経費が、臨空・臨港型産業の早期集積を図る目的で整備する国際物流拠点施設の土地購入に要する経費や県立学校への太陽光発電設備の整備に要する経費など57億4156万3000円である。その他の経費のうち、物件費は、緊急雇用創出事業臨時特例基金を活用する県事業の実施に要する経費や、地域の文化資源を活用した文化・芸術団体の活動を支援する経費など27億1396万8000円、補助費等は、離島・過疎地域等の町村が沖縄振興特別推進交付金を活用して実施する事業に対する支援に要する経費や、さとうきびの生産量の著しい減少に対応するため農家への支援に要する経費など19億8230万7000円であるとの説明がありました。

本案に関し、沖縄振興特別推進交付金要綱により、交付金は原則として基金の造成には使えないが、「特段の事由」により基金の造成が可能なのはどのような場合かとの質疑がありました。

これに対し、当該基金の造成目的である事業があらかじめ複数年度にわたり財源を確保しておくことが施策の安定的かつ効率的な実施に必要な不可欠であり、なおかつ弾力的な支出が必要な事業に基金として充てられると理解している。具体的には、出てくる事業に当てはめながら判断していくことになるとの答弁があり

ました。

次に、5月の段階でまだ予算計上できず、43億円を今後活用せざるを得ない理由は何かとの質疑がありました。

これに対し、今後の基地跡地の公共用地先行取得のために一定程度の資金を確保する必要があり、また、新たな県民のニーズに即した事業に対応するためおおむね全体の10%相当額を残している。9月以降の早い時期に計上したいと考えているとの答弁がありました。

次に、放射線防護服等資機材整備事業の内容はどうなっているかとの質疑がありました。

これに対し、本事業は、原子力災害応急対策計画に基づき、原子力艦の原子力災害に係る防災体制の整備・強化を図るため、活動要員の防護対策に必要な資機材及び避難住民等用の安定沃素剤を整備するものである。具体的には、応援消防本部活動要員用放射線防護服等10名分、県による緊急時モニタリング活動要員用の放射線防護服8名分、また、避難住民等の被曝防護のための安定沃素剤2000名分を整備するものである。避難住民の対象は、ホワイト・ビーチから1.2キロメートル以内の範囲であるとの答弁がありました。

次に、バイオマス資源活用コージェネレーションシステム構築事業の内容と効果はどうなっているかとの質疑がありました。

これに対し、本事業は、離島の特に建設系廃棄物や木くずの適正処理を図るため、処理コストの低減を図りながら環境ビジネスとして定着させていこうという取り組みである。1時間当たり0.27トン規模の施設を導入することにより、年間250日換算で600トンの木くずを適正に処理できる。あわせて発電をすることで、化石燃料の排出削減も図ることができると考えているとの答弁がありました。

次に、放課後児童クラブ支援事業の内容と年次の取り組みはどうなっているかとの質疑がありました。

これに対し、本事業においては、県内の放課後児童クラブの公的施設移行を迅速に促進するために市町村の計画策定を支援するとともに、移行計画のある放課後児童クラブに対する家賃補助や公的施設を活用した施設整備を支援する。今後10年間、おおむね全国平均の80%に当たる225施設を家賃補助のない施設に移行していきたいとの答弁がありました。

次に、イネヨトウによるさとうきび被害の状況とさとうきび減収への影響はどうなっているかとの質疑がありました。

これに対し、4月の報告によると、被害率は北部地

区が5%、中南部地区が6.5%、宮古地区が7%、八重山地区が1%で平年に比べ高くなっている。具体的にイネヨトウによる被害で何トンさとうきびが減収したかを特定することは困難であるとの答弁がありました。

次に、電力料金低減化等可能性調査事業の内容はどうかとの質疑がありました。

これに対し、本事業は、うるま市の旧特別自由貿易地域周辺を対象に、電力契約の形態や電力の使用状況等の現況調査、電力の一括受電などによる電力契約の形態の変更、太陽光発電などの再生可能エネルギーを効果的に活用することによるエネルギーの効果的な組み合わせ等の検討を行い、電力料金の低減化の可能性を調査するものであるとの答弁がありました。

次に、平成23年11月から中城湾港に定期船就航実験がスタートしたが、定期船の就航による貨物取扱量の平成23年度の実績はどうかとの質疑がありました。

これに対し、平成23年度の取扱貨物量は4425トンとなっており、実験前の貨物量は1カ月当たり226トンであったのに対して、実験後は1カ月当たり980トンと4.3倍の増となっているとの答弁がありました。

次に、離島児童・生徒支援センター調査費の内容と今後の取り組みについてどうかとの質疑がありました。

これに対し、本調査費は、設置候補地における通学の利便性や周辺の生活環境、関係する方々の要望、管理方法等に関する調査検討のための経費であり、寄宿舎と子供たちの交流機能を持った複合施設を設置する考えである。平成25年度の6月初旬までに基本設計、9月ごろに実施設計、その後着工、建設をする方向で検討中であるとの答弁がありました。

そのほか、「沖縄県防災情報システム」の機能強化に向けた新システム構築のねらい、市町村の沖縄振興特別推進交付金事業に係る支援、沖縄振興特別推進交付金の予算額決定と事業計画の関係、沖縄振興特別推進交付金の大学院大学周辺整備への活用、閉鎖性海域における堆積赤土等の対策事業の内容と今後の事業展開、サンゴ礁地形に適した潮流シミュレーションモデル構築事業の内容と効果、ステップハウス運営事業の内容、子育て総合支援事業の内容、県内への重粒子線治療施設の導入、沖縄型植物工場実証事業の内容、製糖工場に対する支援策、名護市豊原地区のプロイラー肥育農場の移転時期、イネヨトウの交信攪乱による防除技術普及事業の内容、再生可能エネルギーの導入及び低炭素化社会の実現に向けた施策体系、商標登録等

に対する県の取り組み、雇用対策推進費の具体的内容と効果、芝人養成事業の背景と内容、中城湾港新港地区における定期船就航実験の大阪・福岡までの延伸、J2規格のサッカー場建設のスケジュール、キャリア教育マネジメント事業とこれまでのキャリア教育及び商工労働部事業との関係、離島高校生就学支援事業の予算化等について質疑がありました。

以上が委員会における説明及び質疑の概要であります。採決の結果、甲第1号議案は、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上、審査の経過及び結果を申し上げますが、よろしく御審議のほどをお願い申し上げます。報告を終わります。

○議長（高嶺善伸君） これより質疑に入りますが、ただいまのところ通告はありません。

質疑はありませんか。

〔「質疑なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高嶺善伸君） 質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終結いたします。

これより甲第1号議案を採決いたします。

お諮りいたします。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高嶺善伸君） 御異議なしと認めます。

よって、甲第1号議案は、原案のとおり可決されました。

◆・・・◆
○議長（高嶺善伸君） 日程第3 甲第2号議案及び甲第3号議案を議題といたします。

各議案に関し、委員長の報告を求めます。

土木環境委員長 當山眞市君。

〔委員会審査報告書（予算） 巻末に掲載〕

〔土木環境委員長 當山眞市君登壇〕

○土木環境委員長（當山眞市君） おはようございます。

ただいま議題となりました甲第2号議案及び甲第3号議案の予算議案2件について、委員会における審査の経過及び結果を御報告申し上げます。

委員会におきましては、土木建築部長の出席を求め慎重に審査を行ってまいりました。

以下、審査の過程における執行部の説明及び質疑の概要等について申し上げます。

まず、甲第2号議案「平成24年度沖縄県中城湾港

(新港地区)整備事業特別会計補正予算(第1号)」は、沖縄振興特別推進交付金を活用し、中城湾港新港地区においてコンテナの大型化に対応できるタイヤクレーンの整備を行うために所要の補正を行うものであるとの説明がありました。

本案に関し、業者へのクレーン貸付料金はどうするのか、他の港湾と比較して不公平感のないように配慮すべきではないかとの質疑がありました。

これに対し、クレーン購入費の1億5000万円のうち、県債3000万円を充てているため、この3000万円を基準に耐用年数や維持管理費等を勘案して貸付料金を算定していきたい。また、新港地区においては定期船が就航していないので、可能な限り安く貸し付けて、就航の支援となるように検討していきたいとの答弁がありました。

次に、甲第3号議案「平成24年度沖縄県中城湾港マリン・タウン特別会計補正予算(第1号)」は、沖縄振興特別推進交付金を活用し、本島東海岸の海洋性レジャーの拠点となる与那原マリーナのうち、ボートヤードや管理棟及び駐車場等の整備、ヨット・モーターボート等を保管する浮き桟橋の設計を行うため所要の補正を行うものであるとの説明がありました。

本案に関し、平成26年度供用開始に向け、今回の予算以外に今後の整備計画はあるのかとの質疑がありました。

これに対し、当初計画では505隻分の整備を行う予定であるが、平成25年度までの2年間で213隻分の整備を行い、その他は需要の動向を見ながら整備を行っていく予定である。他のマリーナにおいて大型船の要望が多いという状況があるので、そのあたりも勘案しながら判断していくとの答弁がありました。

次に、ホテルやコンドミニアム用地等について企業のニーズ調査を行っているようだが、その進捗はどうなっているのか、ホテル用地に関して土地利用計画の見直しは行うのかとの質疑がありました。

これに対し、昨年度、ニーズ調査を行い、114社の

企業が興味を持っている。ホテル用地は一括分譲を予定していたが、ニーズを踏まえ、区画割りを地元と調整して企業誘致を進めていく。今後も計画どおりマリーナと一体となったホテル用地等の確保を進めていくとの答弁がありました。

以上が委員会における説明及び質疑の概要ですが、採決の結果、甲第2号議案及び甲第3号議案の2件は、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上、審査の経過及び結果を申し上げましたが、よろしく御審議のほどをお願い申し上げまして報告を終わります。

○議長(高嶺善伸君) これより質疑に入りますが、ただいまのところ通告はありません。

質疑はありませんか。

〔「質疑なし」と呼ぶ者あり〕

○議長(高嶺善伸君) 質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終結いたします。

これより甲第2号議案及び甲第3号議案を一括して採決いたします。

お諮りいたします。

ただいまの議案2件は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長(高嶺善伸君) 御異議なしと認めます。

よって、甲第2号議案及び甲第3号議案は、原案のとおり可決されました。

◆◆◆◆◆
○議長(高嶺善伸君) 以上をもって本日の日程は全部終了いたしました。

今期臨時会の議会活動状況は、後ほど文書をもって報告いたします。

以上をもって本日の会議を閉じます。

これをもって平成24年第2回沖縄県議会(臨時会)を閉会いたします。

午前10時25分閉会

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

議 長 高 嶺 善 伸

会議録署名議員 瑞 慶 覧 功

会議録署名議員 具 志 孝 助